

第2回宗像市地域公共交通会議 会議録

日 時	平成29年12月13日(水) 15時00分～16時20分
場 所	市役所北館204会議室
出席者	【委員】石松豊幸、大枝良直、江藤裕一(代理：佐々木庸敏)、福澤好展、森正彦、児嶋二三生、黒川貞一郎、桑野通孝、飛鷹修、関野成人、早川正史、宮地信裕、原田勝子、平田恵美 【オブザーバー】堺裕之(福岡県) 【関係人】北村和紀、松永達生、大和裕一 (宗像市地域公共交通活性化協議会委員) 【商工観光課】田志参事、尾園係長 【事務局】秦課長、貞光
報告事項	1) 路線バス(津屋崎～鐘崎線)の減便について 2) パークアンドライド(国道3号線：日の里)の利用状況について 3) ふれあいバス・コミュニティバス情報のデータ化と利用促進PRの実施について 4) ふれあいバス及びコミュニティバスの利用者アンケートの実施について
議 題	1) 大島島内有償バスの運行計画(案)について 2) ふれあいバス及びコミュニティバスの見直しについて
その他	・ 次回の会議について ・ 宗像市公共交通会議と宗像市公共交通活性化協議会の整理(統合)について

区分	発言内容等
会長	開会あいさつ
事務局	大島島内有償バスの運行計画(案)の検討のため、宗像市地域公共交通活性化協議会の委員が関係人として出席していることを報告、紹介
商工観光課	審議事項1) 大島島内有償バスの運行計画(案)について 大島島内有償バスの運行計画(案)について説明 (試験運行の内容からの変更点) ・ 運行体制 (多客期：西鉄バス宗像株式会社・みなとタクシー株式会社の共同運行) ・ 運賃(1日乗車券：700円→800円)…収支状況からの見直し ・ ICカード(西鉄バス宗像株式会社のバスのみで使用可) ・ 御嶽山展望台改修完了(9月頃)に合わせて乗入るかどうか検討
事務局	宗像市地域公共交通活性化協議会における書面審議での各委員からの意見について回答 ・ 未就学児への割引料金の設定の有無 試験運行時にも同様の意見あり。その際に設定しないことで合意しており、今回の運行計画(案)もそれに基づいた提案となっている。 ・ 本格運行(2年間)以降の見直しについて 現在、試験運行中であり、本格運行を検討しているような段階ということを考えれば、本格運行終了後を想定するには早いのではないかと。本格運行も含めて状況を見ながら今後検討していくべき部分と捉えている。

福岡運輸支局 佐々木氏	利用状況はどうか。定員超過で乗れないということはないのか。
商工観光課	現行の運行体系では、世界遺産登録後直ぐの土日で乗れなかったという状況は発生したが、今後の見込みでは来訪者数がそれ以上になるとは見込まれない。また、今回の変更（2 者体制）で 1 台目で定員超過するような場合に対応できるようになる。
平田委員	ＩＣカード利用者への乗継割引はあるか。
商工観光課	ＩＣカード利用者への乗継割引はない。
飛鷹委員	団体の観光客の状況はどうか。
商工観光課	団体客は増えている。バスで船に乗り込む場合の他は、みなと観光の貸切バスや民宿利用を前提とした送迎なども活用されている。
松永委員	御嶽山の展望台に西鉄バスは行けるのか。
商工観光課	試験運行検討時に調査した際に行けることは確認したが、途中で離合場所がない。バス利用者からの要望も多いので対応策は検討していく考えである。
福岡運輸支局 佐々木氏	ＩＣカードの利用ができるバスとできないバスに差があるので、それを明確に利用者に対して告知するように。
早川委員	沖津宮遥拝所周辺に食事処があればよいと思う。
商工観光課	食事処とお土産が大島の課題と認識しており、大島交流館～大島ターミナルの間への店舗誘導に取り組んでいる。
黒川委員	今後、一日乗車券の利用が増えるのではないかと考えるが、それに対する対応をどう考えているか。
商工観光課	試験運行の実績からは想定を超えるような利用の多さはない。渡船に乗って帰る時間制限もあり、バスの利用のしかたも多様なようだ。今後も急激に増えるという感じでは捉えていない。
松永委員	今後、観光客増加により地元も活性化が図られ、観光、まちづくりと地域振興が一体となって大島が発展していくことを期待する。そのために市、地元、交通事業者で、今後の計画や課題を検討する機会を設けてはどうか？その際には県にも声かけをいただきたい。 島内バスの円滑な運航に向けては道路施設、駐車場等にも高いサービス水準が求められるが、県としても限られた予算の中で管内全域への対応が必要であり、大島だけを最高の管理レベルには出来ない。交通事業者、市や地元と協力して効率的な道路管理を進めたい。
早川委員	神湊ターミナル側の駐車場において、島から帰るときの出庫で渋滞が生じているが、検討できないか。
商工観光課	駐車場の改善が必要になるが厳しい。
石松会長	駐車場の改善については水産振興課との協議を
委員	バス利用について、前売券の販売・記念乗車券の発行に対応する考えはあるか。
商工観光課	前売対応については、システム改修、販売員の配置のいずれの方法でもかなり経費が必要になることから現状では考えていない。記念乗車券については検討するなら登録 1 周年記念といったタイミングかと思う。
石松会長	今回提案された運行計画（案）で本格運行を開始するということで良いか。（異議なし。了承）

事務局	審議事項 2) ふれあいバス及びコミュニティバスの見直しについて 宗像市公共交通網形成計画に記載されたとおり、2 年に 1 度実施している見直しに向けた準備を開始することについて説明 (H31 年度に向けた見直しポイント) ・ ふれあいバス 第 2 系統・第 3 系統の運行時間の短縮、対象地域と利用の少ないバス停の整理 (バス停の廃止・停車回数減など) を協議 ・ コミュニティバス これまで同様の方法で実施。地域ニーズを収集し、運行事業者等と協議した結果をこの会議に提案。 (H33 年度以降に向けた地域の動きについて紹介) ・ 自由ヶ丘地区でふれあいバスに替えてコミュニティバスの導入を検討。 ・ 宗像市公共交通網形成計画に記載された「ふれあいバスの見直しの検討」に関係した動き ・ 見直しに向けては運行事業者等への影響等、課題の整理が必要になる
平田委員	自由ヶ丘地区でコミュニティバスを導入する場合は第 2 系統・第 3 系統の運行経路は見直されるのか。
事務局	自由ヶ丘地区でコミュニティバスを導入することとなる場合には、ふれあいバスの運行経路から自由ヶ丘地区を削除したものに変更することになると考えている。
関野委員	自由ヶ丘地区でコミュニティバスの導入を検討するため、地域でアンケートの収集を開始した。その中で、自由ヶ丘地区の人口規模・広さから考えてコミュニティバス 1 台で対応できるのかというところが問題点の 1 つになる。 導入するにあたっては定員 14 人の車両を採用することは可能か。
事務局	前回の会議で車両入替の検討時に採用の可否を検討したが、以下の理由から導入しないとの結論に至った。 ・ 定員 14 人の車両では乗務員の免許証の種別が変わるため、運行事業者での乗務員確保が難しい ・ そのため、採用した場合には運行経費が 200 万円以上増加することが見込まれる 宗像市地域公共交通網形成計画において、定員 14 人の車両の採用を検討すると記載しているが、前回会議でそれを検討し、結果が出たと考えている。
森委員	定員 14 人の車両に対応できる乗務員を確保することもできるが、その分の乗務員人件費は増加する。定員 10 人の車両に平均で 2 人以下の利用状況といった実情で無駄が大きくなるということで採用しないほうがいいのではないかと考える。 バス停まで行くのが大変だとのことだが、まずは路線バスへの影響を考えなければならない。一旦、路線が減便・廃止となると復活はない。 枝葉の部分を実質させて幹の部分の失うことになるのではないかと考える。 自由ヶ丘地区だけではなく、他の地域でも同様な話が出る。市として過疎の交通不便地域から都心部への居住誘導の考えがある中では、ある一部の人や一部の地域だけにというのではなく、公平性と市全体で必要かといった視点で慎重に考えるべきだ。 タクシーは 24 時間無休で事業を行い、利用がほとんどない時間帯も公共交通として社会的な責任を担っている。タクシーの料金が高いからコミュニティバスをとということだけで、この会議に話が出てくるのであれば本末転倒ということになるのではないかと考える。 西鉄の路線バスの維持を十分に考えなければならない。

石松会長	関野委員からは地域の切実な状況をお聞かせいただいた。 また、森委員の意見は地方公共団体の問題解決に対する基本的な視点、意見だといえる。 この件について方向性を出すには非常に課題が多いので、今後、この会議の中で慎重に協議・検討を行っていき、宗像市にとって望ましい公共交通のあり方についてまとめていきたい。 H33 年度以降の先の話ということなので、この件はこれで終わり、H31 年度の見直しについてまとめたい。
大枝副会長	公共交通施策は非常に難しく、全ての人が満足しているということはない。 それぞれが少しずつ我慢して成り立っている。それがどこなのか、そのポイントをどこにするのかということを皆さんと検討していきたい。
石松会長	H31 年度の見直しについては提案通り取り組むということ。また、森委員から頂いた「ふれあいバス・コミュニティバス全体の見直し」についての問題点については長期的な視点で慎重に検討していくということで良いか。 (異議なし。了承)
事務局	報告事項 1) 路線バス (津屋崎～鐘崎線) の減便について ・ 前回会議時配布資料「改定時刻表案」の一部に変更あり。変更分を配付。 報告事項 2) パークアンドライド (国道 3 号線：日の里) の利用状況について ・ 利用状況を報告。利用が少ないため、継続した周知の取り組みが必要。 報告事項 3) ふれあいバス・コミュニティバス情報のデータ化と利用促進 P R の実施について ・ インターネットで路線バスも含めたバスの経路検索が可能になった - この情報を活用し、時刻表 (紙で配布) の内容の質を高めたい ・ イベントに出展し、路線バスの利用促進 P R を実施 課題を改善しながら次年度も継続して実施していく 報告事項 4) ふれあいバス及びコミュニティバスの利用者アンケートの実施について ・ 路線改定の検討資料に活用できるよう実施時期を例年より前倒し ・ 運行見直しに向けた検討材料とするために質問項目を 2 項目追加 料金改定の方法に対する志向 バスの乗り継ぎに対する志向
石松会長	質疑がないので報告を終了する。
事務局	その他) ・ 次回の会議について 本年度の協議案件が終了。次回は次年度に開催したい ・ 宗像市公共交通会議と宗像市公共交通活性化協議会の整理 (統合) について 検討内容の関連性が高く、委員も重複しているので、条例等を整理して一つの会議体として整理したいと考えている。 その場合も委員として引き続き検討にご協力いただきたい。
平田委員	大島島内有償バスの運行計画の検討時に話が出なかったが、宗像市公共交通活性化協議会の書面審議で質問していた件について、女性用のトイレが不足している。島内でのトイレの確保について情報をいただきたい。
事務局	商工観光課 (元気な島づくり係) に検討課題としてご意見を伝達する。
石松会長	他になければ、大枝副会長からひと言お願いしたい。
大枝副会長	世界遺産にも登録されたことから、宗像市の公共交通については色々な方向見て検討していかなければならないと考える。大変な作業になってくるとは思うが引き続き検討していきたい。
会長	本日予定された次第は終了。

(以上)